

エリートツリーコンテナ苗植栽による下刈回数の削減に向けて

成長の優れたエリートツリーを活用して低コスト造林(下刈回数の削減)が実現できないか事業ベースで検証するため、国有林試験地で良好な成長を見せるエリートツリーから採穂し、育苗中です。

穂木は昨年9月に採穂し、苗畑に床挿しをして、**今年の5月末にMCコンテナへ移植**しました。

移植の際、当センターでは、系統別の生存率、発根状況、苗高、根元径を計測しました。

来年の2月頃には、宮崎南部署の国有林へ植栽予定であり、現地での下刈回数等について検証していくこととしています。

- ・採穂場所: 宮崎森林管理署都城支署 青井岳国有林1099林班等
- ・採穂時期: 平成26年9月25日～26日
- ・採穂した系統数等: 19系統 約4,600本
- ・移植時期: 平成27年5月20日、22日
- ・育苗場所: 長倉樹苗園(宮崎市)



①試験地から採穂



②系統毎に管理



③挿し木の大きさ



④系統毎に床挿し



⑤移植準備(堀取り)



⑥コンテナに挿す前に1本1本系統管理



⑦苗木の発根状況、苗高、根元径を調査



⑧コンテナへ移植



⑨コンテナで育苗中